



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

10月号

令和5年9月30日
横浜市立境木小学校
校長 清見克明

地域に守られている幸せ

副校長 本田昌彦

門を閉める8時25分近くに、「先生！あと2人登校していきます。」と、プール門から100メートルほど離れた場所から声がかかります。直線道路なので見通しがよく、声とともに手を振っている様子もうかがえます。これは、登校時にたびたび見られる光景で、本校の学援隊の方に、最後までしっかりと登校児童を見守っていただいています。もちろんそこだけでなく、いろいろな場所で見守ってくださる学援隊の皆様、保護者の皆様の活動によって、子どもたちの安全が支えられているのです。

9月のある日のことでした。オレンジ色のベストを着ている方が、本校の1年生と一緒に登校してきました。「泣いて、動かなかったので、私が声をかけて、一緒に登校してきました。」と言われたのです。もちろん最初にお礼を言いましたが、頭の中に？（はてな）マークが浮かびます。境木小学校の学援隊は、きみどり色のベストまたは黄色のウインドブレーカーなので、疑問に思ったのです。お名前をうかがうと、その方は権太坂小学校 学援隊 Gさんでした。どうやら、学区の境目近くで固まっていたので、励ましながら、一緒に登校してきたということでした。担当の権太坂小学校だけでなく、隣の学校の、ぐるっと反対側のプール門まで、根気よく付き合っていたのです。

それにしても、なんと素晴らしい方々が、学区だけでなく境木小学校を取り巻く地域に、いらっしやることでしょう。感謝、感謝です。



9月号の学校だよりでもお知らせしましたが、地域防災拠点として、災害用ハマッコトイレの下水道管理設工事が完了しました。早速、9月上旬に、地域防災拠点運営委員会、委員長の佐野様、役員竹内様、縣様がポンプの動作確認をして、水を流しました。そして、10月8日（日）には、地域防災拠点避難訓練が運営委員の皆様の方で、実施されます。よりよい訓練の場となることを願っています。

子どもたちを見守っていただいたり、いざという時に備えたりと様々なご協力をいただき、本当にありがとうございます。保護者の皆様はもちろん、頼りになる素敵な大人が、こんなにも多くいて、守られているということ子どもたちに伝えていきたいと思っております。